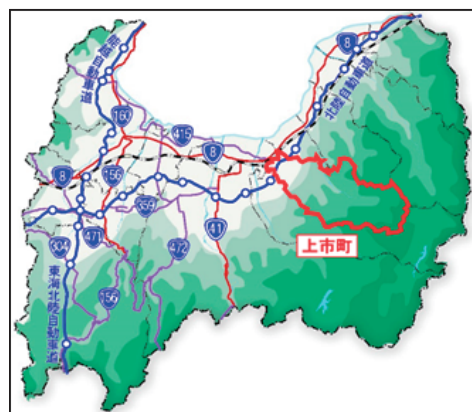


上市スマートインターチェンジの開通

富山県上市町 建設課

はじめに

上市町は富山県の中心部から約15km東に位置する、面積236.71km²、人口約2万人の町です。町の西部は富山市に隣接し富山平野が開け、東部は劔岳（標高2,999m）を主峰とする北アルプスの深い山岳地帯であり、居住地域のほとんどが市街地を中心とする西部に集中しています。町のシンボルである劔岳は、山頂付近から平安時代のものと推定される錫杖頭が発見されるなど、古くから山岳信仰の山として知られていました。山岳信仰が盛んになるにつれ、やがてその道筋であった上市には「市」が開かれるようになり、古くから物資流通の中心地として賑わいのある町並みが形成されてきました。現在は稲作を中心とした農業と医薬品を中心とする製造業が調和する田園工業都市として、発展を続けてきました。

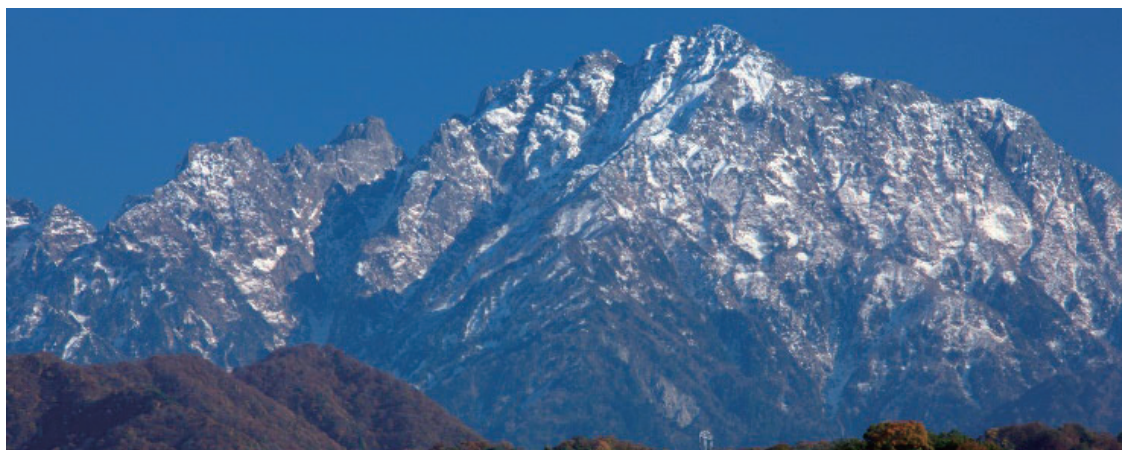


上市町の位置

今回、新たな町の玄関口として令和2年12月13日に上市スマートICが開通しましたので、事業経過などをご紹介します。



上市スマートIC 全景



上市町のシンボル 劔岳

上市スマート IC の概要

■設置場所：北陸自動車道 立山 IC ～滑川 IC 間

■所在地：富山県中新川郡上市町
中江上及び東江上 地内

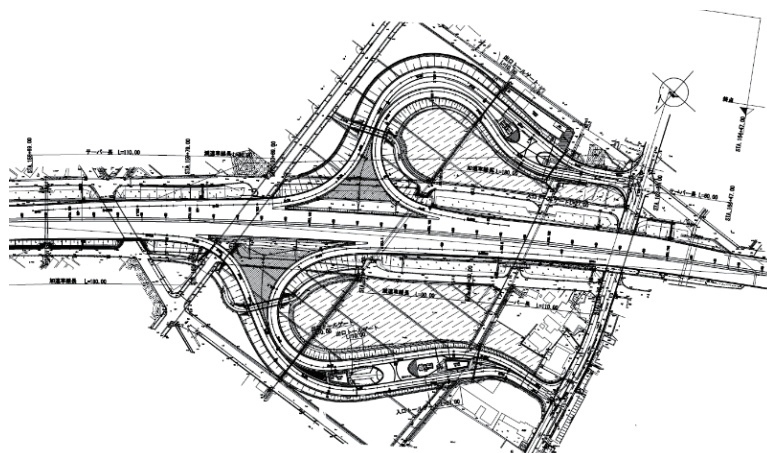
■接続形式：本線直結型

■利用時間：24 時間

■利用形態：全方向利用可能
(石川方面、新潟方面)
フルインター形式

■利用対象車種：
ETC 車載器を搭載した全車種

■計画交通量：1,500 台 / 日



上市スマート IC

平成 28 年 6 月に国土交通省より連結許可を頂いて以降、中日本高速道路株式会社や、国、県と協力し事業を進め、県内では初となる車長制限のないフルインター形式のスマート IC として令和 2 年 12 月 13 日に開通しました。

整備効果

(1) 国道 8 号の渋滞緩和

北陸自動車道と並走する国道 8 号から上市スマート IC までのアクセス距離が約 2 km と近く、交通量の多い国道 8 号の渋滞緩和が期待できます。

(2) 地域産業の活性化

上市町内や国道 8 号沿線には医薬品関連や製造業を中心に、高度な技術力を有する企業団地が多数立地しており、更なる産業の発展や新たな企業誘致、雇用の増大など、地域経済の活性化へ大きな期待ができます。



上市スマート IC 周辺立地状況

また、劔岳の登山口である馬場島や大岩山日石寺などの人気の観光地があり、観光振興の面においても期待を寄せています。



眼目山立山寺の榎並木



馬場島（劔岳青少年旅行村）



大岩日石寺の六本滝



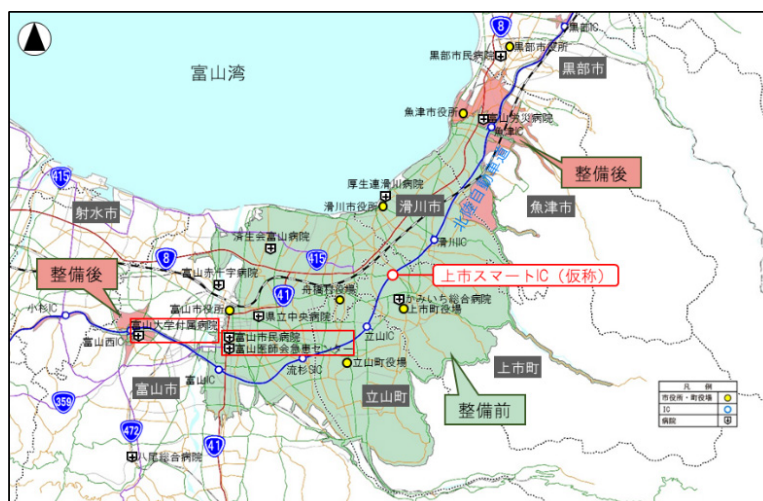
大岩日石寺の摩崖仏（不動明王）

(3) 災害時の支援ルート確保

上市町は東西を河川に挟まれており、河川氾濫時には孤立の恐れがありますが、盛土・橋梁構造の北陸自動車道であればアクセスが可能であり、孤立することなく確実な消防・防災活動が維持できます。

(4) 救急医療施設へのアクセス向上

北陸自動車道を利用することで、新たに富山大学附属病院が町中心部から20分圏内に含まれ、より安心な救命救急体制が確保できます。また、走行性の高い高速道路を利用することで、傷病者への身体的負担の軽減も期待できます。



スマート IC 整備前後の上市市街地 20 分圏域

工事概要

- 盛土工：約 8 万 m^3
- 舗装工：約 2 万 m^2
- カルバート工：4 基
- 消雪工：約 1,200m（井戸 2 基）

スマート IC は盛土工事がメインであり、施工業者からは「大量の土砂の確保・運搬に苦労した」と聞かれています。なお、盛土材の一部（約 1 万 m^3 ）には富山県新川土木センター管内でストックしていた残土を利用して、公共残土の有効活用に貢献することができました。



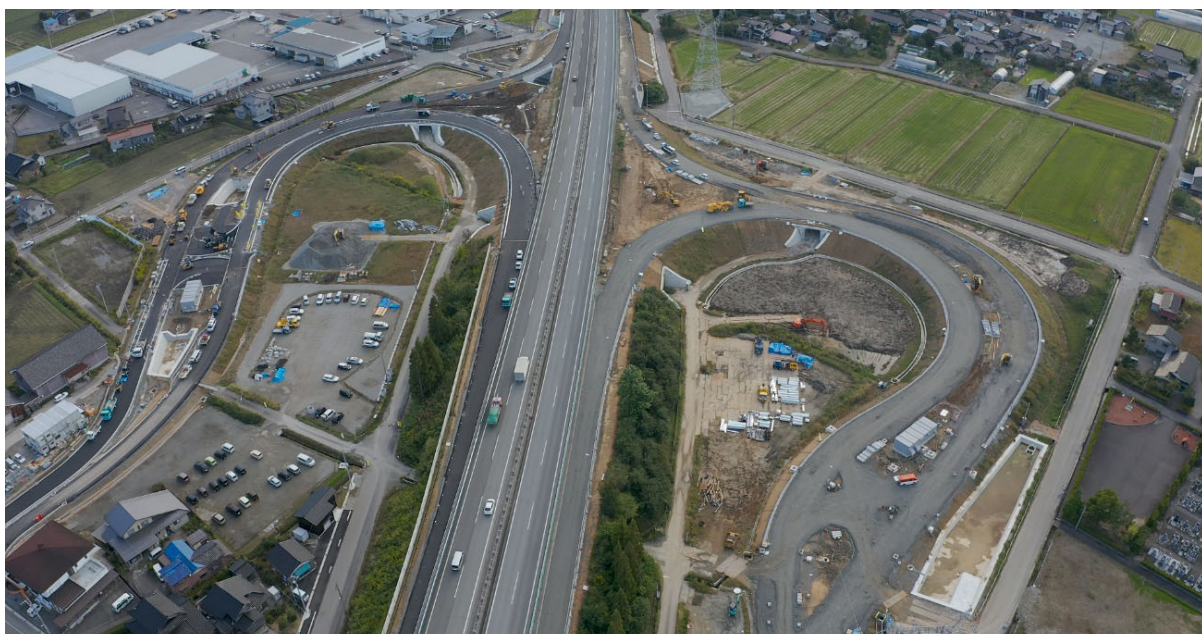
工事着工直後（令和元年 11 月頃撮影）



盛土工及びカルバート工①（令和 2 年 6 月 8 日撮影）



盛土工及びカルバート工②（令和2年8月20日撮影）



舗装工（令和2年10月13日撮影）



完成（令和2年12月4日撮影）

開通式典の開催

令和2年12月13日（日）、地元選出の国会議員・富山県知事・上市町長をはじめ、県議会議員、用地協力者の皆様、国土交通省や中日本高速道路株式会社など関係各位、約60名のご列席のもと、式典会場の上市町立宮川小学校体育館において開通式が執り行われました。開通後には上市町商工会の関係者が交通安全の啓発活動と併せ、スマートICの利用者に記念品を配布するなど、町のPRに協力していただきました。



テープカットとくす玉開被



開通直後の上市スマートIC

今後の展望

上市スマートICが開通したことで広域的な道路網の連携強化が図られたことは、物流や観光振興の面で整備効果が非常に大きいと考えており、スマートICへのアクセス性をさらに向上させるため、関連する主要幹線道路の整備や、新たな企業誘致に繋がるような道路整備を推進していく必要があると考えています。

また、上市スマートIC利用者の利便性向上のため、現在、上り線ランプの内側に令和3年度末の完成を目指して駐車場、高速バスの待合所及び県産材を活用した公衆トイレの整備を進めているところです。さらなる利用促進のため、今後の状況を注視していきたいと思います。



駐車場等の関連整備（令和3年12月現在）

おわりに

当町では、令和3年度から始まる新たな総合計画において、町の将来像を「つながる にぎわう ささえあう すべては私とミライのために みんなが主役のまち 上市」と掲げています。人口減少や少子高齢化、さらには新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や経済対策など、大きな課題を抱えているところではありますが、上市スマートICの開通を契機に、生活環境の充実や産業活動の活性化、交流人口の拡大に、より一層努めてまいります。

最後に、上市スマートICの開通にあたり、貴重な用地を提供していただいた地権者の皆様、並びに日頃より事業推進にご協力をいただきました関係各位の皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。